



Photostud

日本・サウジアラビア外交関係樹立70周年記念

THE SAUDI ARABIA ROYAL CUP

第11回 サウジアラビアロイヤルカップ (GⅢ)

1着 賞 33,000,000円 2着 13,000,000円 3着 8,300,000円 4着 5,000,000円 5着 3,300,000円
付加賞 287,000円 82,000円 41,000円



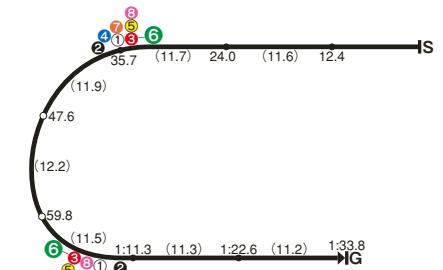
レース映像は
こちらでご覧
いただけます。

2歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2025.10.11 東京 小雨・良 芝1600m (国産) (特指)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑥	エコロアルバ	牡	2	56	坂井瑠星	1:33.8	8-8	33.2	472(+8)	3.6②	田村康仁(美浦)	111
2	①	ガリレア	牡	2	56	杉原誠人	1½	3-3	34.0	442(+2)	53.4⑦	清水英克(美浦)	107
3	⑤	ゾロアストロ	牡	2	56	ルメル	クビ	5-6	33.8	470(+4)	1.9①	宮田敬介(美浦)	107
4	②	マーゴットブロー	牡	2	56	荻野 極	クビ	1-1	34.4	494(-2)	60.1⑧	伊坂重信(美浦)	106
5	⑧	チュウワカーネギー	牡	2	56	北村友一	1½	5-5	34.2	534(+18)	4.4③	大久保龍志(栗東)	
6	④	ユウファラオ	牡	2	56	丸山元気	ハナ	2-2	34.5	482(±0)	42.5⑥	森 秀行(栗東)	
7	③	アスクエジナバラ	牡	2	56	岩田康誠	1½	5-6	34.3	458(±0)	9.1④	福永祐一(栗東)	
8	⑦	ニシノエースサマ	牡	2	56	三浦皇成	2	3-3	34.9	486(+6)	15.1⑨	鹿戸雄一(美浦)	

単勝⑥360円(2½%) 複勝⑥130円(2½%) ①470円(7½%) ⑤110円(1½%) 枠連：発売なし
馬連①-⑥8,690円(16½%) ワイド①-⑥1,380円(14½%) ⑤-⑥170円(1½%) ①-⑤1,000円(12½%)
馬単⑥-①13,620円(26½%) 3連複①-⑤-⑥3,490円(11½%) 3連単⑥-①-⑤32,330円(84½%)
5重勝⑥②④⑤⑧1,140,380円(291票) 対象競走：東京9R/京都10R/東京10R/京都11R/東京11R



通過タイム： 600m 800m 1000m 上り： 800m 600m
35.7 - 47.6 - 59.8 46.2 - 34.0

アラカルト

- ・坂井瑠星騎手はサウジアラビアロイヤルC初勝利。JRA重賞は本年4勝目、通算23勝目
- ・田村康仁調教師はサウジアラビアロイヤルC初勝利。JRA重賞はアスクビクターモアで制した22年菊花賞に続く通算15勝目
- ・モズアスコット産駒はJRA重賞通算2勝目
- ・牡馬の勝利は19年サリオス以降7年連続、通算10回目

エコロアルバ *Ecoro Alba*

牡 栗毛 2023.4.30生
北海道新ひだか町 藤原牧場生産
馬主・原村正紀氏 美浦・田村康仁厩舎
馬名意味・冠名+夜明け(西)

クレイグダーロツチGB系 F11-c

モズアスコットUSA Mozu Ascot 栗毛 2014	Frankel 鹿毛 2008	Galileo
		Kind
	India 栗毛 2003	Hennessy Misty Hour
スターアクトレス 鹿毛 2011	フレンチデピュティUSA 栗毛 1992	Deputy Minister Mitterand
		サンデーサイレンスUSA
	マザーリーフ 黒鹿毛 2003	スカラシップ

5代までのインブリード：Miswaki S4×S5 Northern Dancer S5×M5

INTERVIEW

藤原翔 取締役(藤原牧場)

ウイニングチケットに似ていると思いました

大切に育ててきたスターロツチの血統から久しぶりに重賞勝ち馬が出たことがとても嬉しいです。レースを見てウイニングチケットの京都新聞杯を思い出すぐらい、走り方が似ていると思いました。エコロアルバは生まれた時からとてもきれいで馬っぷりが良く、セリでも高く評価していただきました。とにかく無事に、これからも頑張ってくれることを期待しています。

Y.Maeda



生が誕生した。

今年、千葉サラブレッドセールにおいて上場馬中4位の高価格(7700万円)で落札された本馬は、7月に新潟・芝1400mの新馬戦でデビュー。中団追走から鮮やかに差し切り、脚光を浴びた。見事なごぼう抜きを決めたこの日のインパクトはその初陣を遙かに凌ぐもの。父は初年度産駒からファウストラゼンを送り出したモズアスコット、名牝スターロツチの末裔にあたる牝系も筋が通っており、高い能力に加えて強烈な個性も放つスター候補生が誕生した。

父モズアスコットUSA

中央、地方、香26戦7勝(安田記念^{G1}、フェブラリーS^{G1}、根岸S^{Gm}、マイルチャンピオンシップ南部杯^{Jn} I 2着、スワンS^{Gm} 2着2回、マイラーズC^{Gm} 2着、阪急杯^{Gm} 2着)、21年から供用
〔代表産駒〕ファウストラゼン(弥生賞ディープインパクト記念^{Gm}、ホープフルS^{G1} 3着)、エコロアルバ(本馬)、ガリレオ(サウジアラビアロイヤルC^{Gm} 2着)、モズナスター(ファンタジーS^{Gm} 2着)、リリーフィールド(兵庫チャンピオンシップ^{Jn} II 3着)、ペアパッキューン(鎌倉記念、若潮スプリント)、ロードレイジング(ルーキーズサマーC)

母スターアクトレス

北海道新ひだか町 藤原牧場生産 中央3戦0勝、地方31戦1勝
スターオンステージ(18 牝父シニスターミニスターUSA)中央7戦0勝、地方27戦4勝
グラングリシーヌ(19 牝父シンボリクリスエスUSA)中央1戦0勝
スリアンヴォス(20 牝父ルーラーシップ)中央9戦0勝、地方17戦7勝
ラインエンデバー(22 騾父カリフォルニアクロムUSA)地方9戦0勝
エコロアルバ 本馬(23 牝父モズアスコットUSA)中央2戦2勝(サウジアラビアロイヤルC^{Gm}) 獲得総賞金40,787,000円
(24 牝父ブリックスアンドモルタルUSA)
※21、25(生後直死)

祖母マザーリーフ

北海道静内町 藤原牧場生産 中央0勝。12年用途変更
ダンスディレクター(10 牝父アルデバランII USA)中央7勝(シルクロードS^{Gm} 2回、斑鳩S、鷹ヶ峰特別、阪神C^{Gm} 2着2回、CBC賞^{Gm} 2着、セントウルS^{Gm} 3着)、種牡馬
スターアクトレス(11 前出)

曾祖母スカラシップ

北海道静内町 藤原牧場生産 中央4勝(かもめ島特別、知味特別)、11年用途変更
メンデル(02 牝父デヒアUSA)中央4勝(灘S)、地方1勝
マザーリーフ(03 前出)
スノーモンキー(10 牝父ファスリエフUSA)中央4勝(マウヴェラスジョッキーズトロフィー、白馬岳特別)、地方0勝

四代母バワフルレディ

北海道静内町 藤原牧場生産 不出走。06年死亡、ウイニングチケット(日本ダービー^{G1}、種牡馬)、ロイヤルタッチ(きざり賞^{Gm}、種牡馬)の母

衝撃的な末脚を披露して2連勝を飾る

「日本・サウジアラビア外交関係樹立70周年記念」として行われた2歳のマイル重賞・サウジアラビアロイヤルCは、デビュー2戦目の未勝利戦を好内容で快勝したソロアストロが圧倒的な支持(単勝1・9倍)を集めた。とはいえ2017年のダノンプレミアム以降の優勝馬は「デビュー勝ち、キャリア1戦」の馬ばかり。共通項にあてはまらなかった同馬はデータを覆せず、3着に終わる。勝利の軍配は今年も1戦1勝馬に上がり、対抗候補と目されていたエコロアルバが衝撃的な末脚を披露してデビュー2連勝を飾った。

朝から降り続く雨のもとで争われたレースは、1、2番人気の両馬が揃って出遅れる波乱含みの幕開けに。そんな2頭を尻目に先手を奪ったマーゴツトブローは落ち着いたラップを刻んで風を切る。3番人気の支持を集めたチユウワカーネギーは5番手の外で折り合いに専念。出遅れから巻き返し、その直後につけたソロアストロに対し、エコロアルバは坂井瑠星騎手に促されても反応が鈍く、一団となった馬群から3馬身ほど離れた最後方を進んだ。マイペースの逃げを打ったマーゴツトブローは2番手のユウフアラオに並ばれてからもしごとく抵抗、2頭が火花を散らしながら直線の坂を駆け上がる。一方のエコロアルバは残り400m地点でもまだ最後方、坂井騎手の手応えからも敗色濃厚と映ったが、坂の上りでエンジンに火がついてからは爆発的な末脚を発揮。前の7頭を一気に呑み込んで先頭へ突き抜けた。